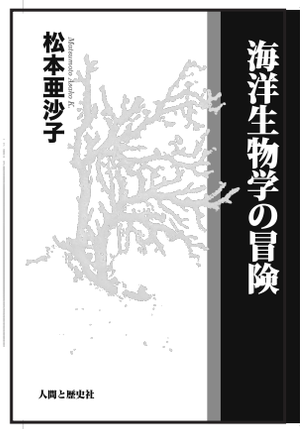
新刊のご案内

2014年9月1日刊

海洋生物学の冒険

松本亜沙子 著

人間と歴史社刊



世界最深7703メートルの超深海で、生きた魚類の撮影とサンプルの取得に成功した海洋生物学者の著者が、満を持して贈る。「海洋生物学の冒険」

気鋭の海洋生態学・深海生物学者が新たな視点で“海”を捉え直す！

【著者略歴】 理学博士。東日本国際大学特任准教授。東京大学総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系博士課程、海洋研究開発機構研究員を経て、東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻。2008年International Symposium on Deep Sea Coral(国際深海サンゴシンポジウム)国際運営委員、東京大学海洋研究所でHADEEPプロジェクトを立ち上げる。現在、麗澤大学比較文明文化研究センター客員教授、千葉工業大学地球惑星探査研究センター(PERC)非常勤研究員を兼任。

◆本書の主な内容◆

第一章　海洋生物学の冒険

海は“道”か／海のホット・スポット／生きた超深海魚をとらえる／的中した漁師的視点

第二章　〈海の視点〉〈陸の視点〉

小説『珊瑚』―新田次郎の視点／海難の原因／異なる〈海〉と〈陸〉の距離感覚／再考すべき〈海の視点〉

第三章　オーストリア＝ハプスブルク帝国と海洋　「うたかたの恋」― 皇太子ルドルフのサンゴ

陸の帝国―オーストリアの海への挑戦／ウィーン自然史博物館／発見された日本のサンゴ標本／残された「ルドルフのサンゴ」の来歴

第四章　明治の西洋動物学の黎明　　木下熊雄〈上〉

モースが持ち帰った「深海・冷水域サンゴ」／海洋生物学者―木下熊雄の生涯／木下熊雄とその世界

第五章　明治の西洋動物学の黎明　　木下熊雄〈下〉

木下家の人びと―新進気鋭の学風／彗星を科学的に観察／氷の結晶のメカニズムを発見／科学者としての“あるべき姿”

海洋生物学の冒険　　冊

A5判224頁　本体2,000円　ISBN 978-4-89007-194-4

番線印

ご担当者様　　電話番号

人間と歴史社　TEL 03-5282-7181　FAX **03-5282-7180**